2027年国際園芸博覧会の概要

- **2027年国際園芸博覧会**は、**「幸せを創る明日の風景」**をテーマに、**花や緑との関わりを通じ、自然と共生した持続可能で幸福感が深まる社会の創造**を目的として開催。
- 本博覧会では、多様な屋内外の展示、コンペティション、行催事等を通じて、以下に取り組む。
  ① 花・緑・農に関連した**最新技術の国内外での共有**による、**SDGsの達成**や**グリーン社会の実現**の推進
  ② **国内の優れた花きの魅力**や、**日本庭園・いけばな等の文化の発信**を通じた、**花き園芸産業・造園業等の発展**への貢献
  ③ 花の名所や様々な庭園をはじめとする**観光資源との全国的な連携**を通じた、**観光振興**

開催概要

位置付け	最上位の国際園芸博覧会（A1） ※我が国では1990年の大阪花の万博以来の開催
開催場所	旧上瀬谷通信施設の一部（約100ha） （横浜市旭区・瀬谷区）
開催期間	2027年3月19日～9月26日 （6か月間）
参加者数	1,500万人（ICT活用等の多様な参加形態含む） ※大阪花の万博では約2,300万人が来場
会場建設費	約320億円
テーマ	幸せを創る明日の風景 ～Scenery of the Future for Happiness～
開催主体	公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会 ※園芸博法に基づき国が指定

開催場所・会場イメージ

相鉄線「瀬谷駅」から北に2ｋｍ